

朝日環境センターでの火災に伴う現状と今後の見通しについて

1 現在の状況

(1) 火災の状況

- ・1月3日(金)20時55分
発火原因:不明
- ・1月4日(土曜日)23時49分 鎮火

(2) 被害状況

ごみクレーン2台、電気ケーブル、位置センサー、レール、ごみ投入扉、ごみピット内照明設備、消防設備(放水銃)となっている。

(3) ごみの収集

家庭系一般ごみは、近隣自治体等の協力を得ながら実施しているが、通常に比べ遅れてはいるものの、当日中に収集を完了している。

資源物等やプラスチック製容器包装については、通常どおりの収集業務を実施している。

なお、収集作業が遅れ気味であるが、今後も数カ月は続く見込みである

市が収集している粗大ごみについては、通常どおり予約を受け付けている。なお、自己搬入については、鳩ヶ谷衛生センターでのみ受け入れている。

(4) 近隣自治体等への協力依頼

現在までの本市から近隣自治体等へごみ処理の協力を依頼している状況は次のとおりである。

埼玉県内 ※埼玉県清掃行政研究協議会会員

さいたま市、春日部市、上尾市、朝霞市、
東埼玉資源環境組合(越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)、
蕨戸田衛生センター組合(蕨市、戸田市)

東京都内

東京二十三区清掃一部事務組合(練馬区、板橋区、足立区)

民間施設

オリックス資源循環株式会社(寄居町)
株式会社ナリコー(成田市)
株式会社アクトリーR&Dセンター(壬生町)

朝日環境センターの再稼働まで、引き続き近隣自治体等への受け入れ要請を行っていく。

(5) 市民への情報発信

市長メッセージ動画をはじめ、川口市公式ホームページへ掲載し、随時情報を更新するほか、川口市公式LINE、きらり川口情報メール等各種SNSを活用し情報発信している。

その他、行政防災無線にて広報したほか、町会・自治会長へ電話、FAXによる情報提供やステーションへの掲示用ポスターを作成し、今後も更なる情報発信について検討していく。

2 今後の見通し

(1) 朝日環境センターの運転再開時期

現在、調査中であるが、再開までには最低でも数カ月かかる見込みである。

(2) 朝日、戸塚両センターへの自己搬入の再開時期

現段階において、市民による自己搬入の再開時期は未定である。

3 その他

市民の皆様には、引き続きごみの減量と適切な分別にご協力をお願いいたします。

また、ごみ収集の状況や分別方法、自己搬入などに関する最新の情報は市ホームページで随時お知らせします。

○ 朝日環境センター火災に伴う情報まとめページ

(<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/juyo/47385.html>)

